

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ドッグトレーナーコース		
科目名	選択演習(インストラクター専攻)					必修・選択必修の別		選択必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	498 時間
	2年	前期	246	時間	後期	252	時間		
	注釈) 上記科目を選択した学生のみ対象								
担当講師	南條 夏世								
	実務経験	有	CPD T-KA(国際資格)取得。個人での教室主宰や、様々な施設・イベントにて家庭犬のしつけ教室を開催。						
授業概要	社会に出てすぐに役立つ、身近な問題やしつけに対応できる技術と知識を身につける						授業形式	実習	
到達目標	マナーテスト受験やアジリティーを通して、家庭犬に必要なしつけの技術を身につける・一般飼い主へのアドバイスができる								
教科書・教材・服装等	子いぬと仲良くなる育て方 しつけ編								
授業計画時間数	授業内容								
1～6	担当犬の観察・テスト内容説明・細分化								
7～12	犬の選び方・担当犬の観察・ベーストレーニング①								
13～18	テストシミュレーション・ハズトレ下地作り・ほいくえんについて								
19～24	外部犬とのコミュニケーション・ラリーオビディエンスについて								
25～30	犬の食・ベーストレーニング②・トリック誘導①								
31～36	テストスタッフの動きの確認								
37～42	合図の確実性を上げる								
43～48	犬との住まい・トリック誘導②・クリッカートレーニング(条件付け)								
49～54	Choose to heel								
55～60	犬が喜ぶおもちゃ作り おもちゃを強化子にする								
61～66	健康管理・トリック誘導③・クリッカートレーニング(イルカのトレーニング)								
67～72	ラリーオビディエンス 項目								
73～78	犬のやる気がなくなる原因								
79～84	ペット保険、病院の選び方・クリッカートレーニング(キャッチング①)								
85～90	ウォーミングアップの方法								
91～96	子犬カレンダー、社会化・クリッカートレーニング(キャッチング②)								
97～102	ラリーオビディエンス コース								
103～108	ワイロと報酬について理解する								
109～114	しつけについて・クリッカートレーニング(キャッチング③)								
115～120	模擬試験 1 回目 (流れの確認								
121～126	トレーニング手順 復習								
127～132	介護、看取り・クリッカートレーニング(シェーピング①)								
133～138	項目チェック								
139～144	報酬の出し方を工夫する								
145～150	ケーススタディ①・クリッカートレーニング(シェーピング②)								
151～156	項目チェック								
157～162	人前・静かな環境でのパフォーマンスに慣れる								

163～168	ケーススタディ②・クリッカートレーニング(シェーピング③)
169～174	模擬試験 2 回目（判定基準本試験同様）
175～180	ケーススタディ③・トレーニングまとめ①
181～186	テスト対策
187～192	テスト対策
193～198	ケーススタディ④・トレーニングまとめ②
199～204	模擬試験 3 回目（通し）
205～210	本試験
211～216	ケーススタディ⑤・成果発表
217～222	追試
223～228	追試
229～234	筆記試験、レクチャーテスト
235～240	ほいくえん 参観日
241～246	ほいくえん 参観日 筆記テスト
247～252	担当犬を決める・犬の観察評価・前期の復習
253～258	アジリティー基礎練習①
258～264	ポスター作成・本日の担当犬の課題を見つける・説明する練習
265～270	しつけ教室について
270～276	アジリティー基礎練習②
277～282	集客のためのポスター掲示・ケーススタディー
282～288	しつけ教室について・理論復習
289～294	アジリティー基礎練習③
294～300	しつけ教室体験
301～306	ビギナーコース練習①
306～312	ノーズワークについて
313～318	しつけ教室 予選の流れ
319～324	ビギナーコース練習②
325～330	問題解決のための考え方
331～336	動物福祉と動物愛護・動物愛護法
337～342	教室運営（予選）
343～348	ノービスコース練習①
349～354	トレーニングに必要な用語の整理
355～360	ノーズワーク 導入
361～366	ノービスコース練習②
367～372	ノーズワーク ペアリング
373～378	ノーズワーク 臭気移行
379～384	しつけ教室 予選準備
385～390	しつけ教室 予選準備
391～396	ノービスコース練習③
397～402	しつけ教室 予選
403～408	ノーズワーク 模擬トライアル
409～414	アジリティーテストコース練習①
415～420	しつけ教室 順位発表
421～426	ノーズワークトライアル
427～432	アジリティーテストコース練習②
433～438	オリエンテーション（講師）
439～444	ハウスマナー実践（課外授業）

445～450	アジリティーテストコース練習③			
451～456	しつけ教室①（講師）			
457～462	教室準備			
463～468	アジリティーコンペ			
469～474	しつけ教室②（学生成果発表）			
475～480	教室準備			
481～486	ギャンプラー、筆記試験			
487～492	しつけ教室③（学生成果発表）			
493～498	認定試験（実技・筆記）			
成績評価方法	・授業内で行う実技・筆記試験により評価		定期試験	筆記試験
				実技試験
				○ 実施しない
成績評価基準	A評価	実技・筆記試験80点以上 出席率80％以上、平常点優れている		
	B評価	実技・筆記試験60点以上 出席率60％以上、平常点普通		
	C評価	実技・筆記試験40点以上 出席率50％以上、平常点やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ドッグトレーナーコース		
科目名	選択演習(訓練専攻)					必修・選択必修の別		選択必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	498 時間
	2年	前期	246	時間	後期	252	時間		
	注釈) 上記科目を選択した学生のみ対象								
担当講師	後藤佑介								
	実務経験	有	JKC公認訓練所で実務経験を積み作業犬の育成・一般家庭犬のしつけに携わる						
授業概要	学校所有の犬を使用して訓練実習・座学を通して様々な知識や技術を身に付ける。就職を視野に入れて即戦力となる人材教育						授業形式	演習	
到達目標	訓練実習を通して様々な犬に合わせたトレーニングの実施により一般飼い主さんの要望に添える技術を身に付ける。								
教科書・教材・服装等	実習着・ウェストポーチ・リード								
授業計画時間数	授業内容								
1~24	一年生の復習(リードの持ち方・注意点・効果)								
25~27	JKC家庭犬訓練試験CD1・CD2説明								
28~120	脚側・お座り・伏臥・立止・オイデ								
121~123	JKC家庭犬訓練試験 自由課題3課目説明								
124~185	自由課題3課目 練習								
186~187	ウォータースポーツについて学ぶ								
188~189	プール設置から運用方法について								
190~246	プール実習ハイドロセラピー & 家庭犬訓練試験練習								
247~260	前期の復習								
261~263	ドッグスポーツ解説								
264~498	ドッグスポーツにチャレンジ & 家庭犬訓練試験練習								
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験	
	・平常点(提出物・授業参加意欲など)							実技試験	
							○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率95%以上・授業意欲に優れている							
	B評価	出席率90%以上・A評価の基準に満たない場合							
	C評価	出席率85%以上・B評価の基準に満たない場合							
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合							